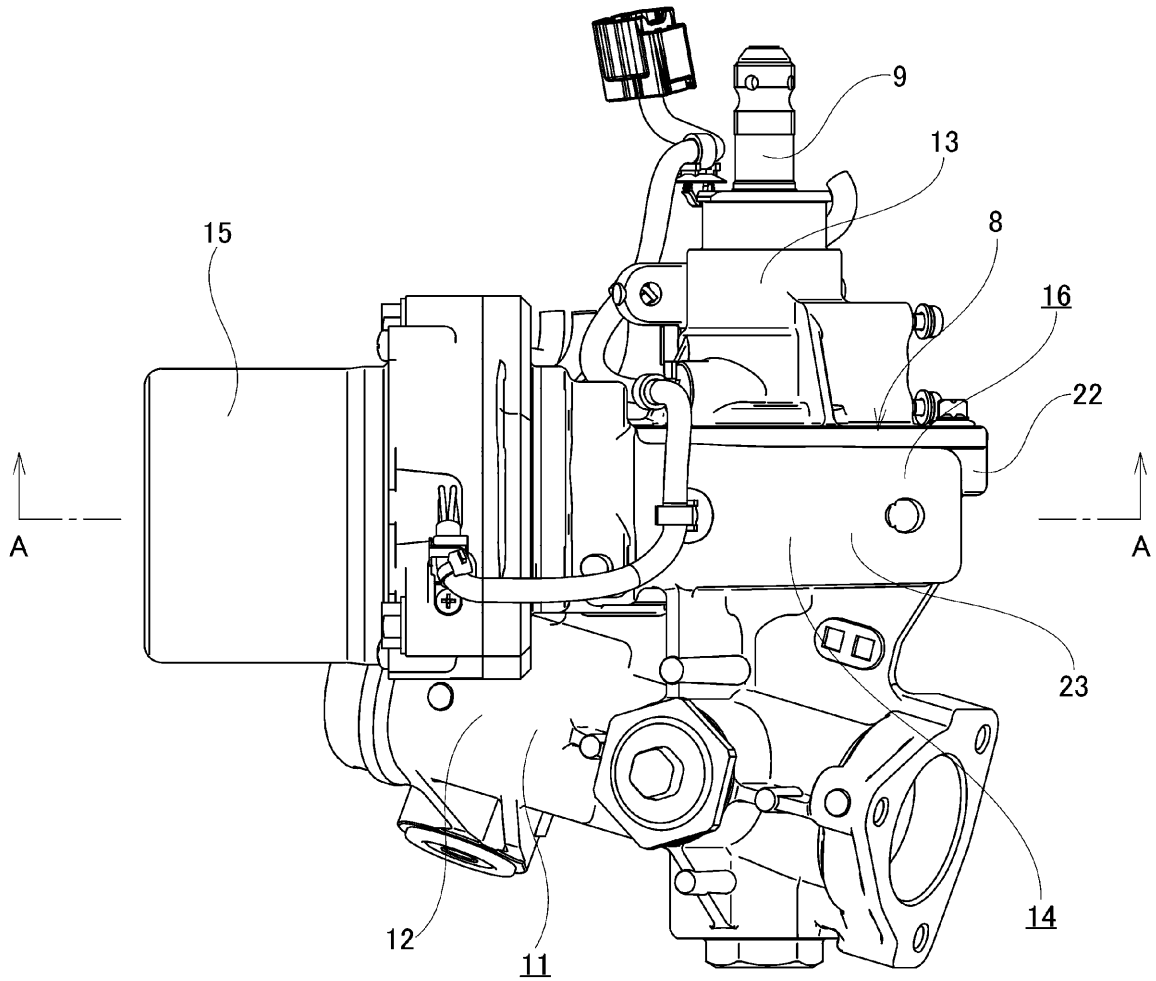
【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第５部門第２区分
【発行日】令和6年3月27日(2024.3.27)

【公開番号】特開2023-7883(P2023-7883A)
【公開日】令和5年1月19日(2023.1.19)
【年通号数】公開公報(特許)2023-011
【出願番号】特願2021-111001(P2021-111001)
【国際特許分類】
*Ｆ１６Ｈ　1/16(2006.01)*
*Ｆ１６Ｃ 19/06(2006.01)*
*Ｆ１６Ｃ 19/54(2006.01)*
*Ｆ１６Ｃ 23/08(2006.01)*
*Ｆ１６Ｃ 35/077(2006.01)*
*Ｂ６２Ｄ　5/04(2006.01)*
【ＦＩ】
Ｆ１６Ｈ　1/16　　Ｚ
Ｆ１６Ｃ 19/06
Ｆ１６Ｃ 19/54
Ｆ１６Ｃ 23/08
Ｆ１６Ｃ 35/077
Ｂ６２Ｄ　5/04

【手続補正書】
【提出日】令和6年3月7日(2024.3.7)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００７６
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００７６】
本例では、板ばね２１ａを構成する本体板部４７ａの第２直線部５１ａは、円弧部４９ａのうち、第２方向に関してウォームホイール１７に近い側の周方向端部から、円弧部４９ａの径方向に関して外側に折り曲げられている。本体板部４７ａの第３直線部５２ａは、第２直線部５１ａの先端部から、第３方向に関して円弧部４９ａ側に折り曲げられ、円弧部４９ａのうち、第２方向に関してウォームホイール１７に近い側の端部と略平行に配置されている。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００７９
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００７９】
本例のウォーム減速機を組み立てる際には、ホルダ１９ａのホルダ筒部３５にブッシュ４３ａを内嵌し、かつ、ホルダ１９ａのばね保持部３６ａに板ばね２１ａを取り付けた後に、ブッシュ４３ａおよび板ばね２１ａの押圧板部４８ａの径方向内側に、支持軸受２０を第１方向の一方側から挿入する。この際に、板ばね２１ａのガイド板部５４ａの径方向内側面は、支持軸受２０の挿入作業を行う際に外輪３３をガイドするためのガイド面として機能させることができる。
その他の構成及び作用効果は、実施の形態の第１例と同様である。

【手続補正３】
【補正対象書類名】図面
【補正対象項目名】図２
【補正方法】変更
【補正の内容】
【図２】




【手続補正４】
【補正対象書類名】図面
【補正対象項目名】図１７
【補正方法】変更
【補正の内容】

【図１７】

